

ロタウイルス感染症予防接種のお知らせ

令和2年10月1日から「ロタウイルス」の予防接種が定期接種となります。対象のお子さんは、かかりつけの小児科にご予約の上、接種しましょう。

■ロタウイルス感染症とは

感染性胃腸炎の原因の一つで、乳幼児がかかりやすい病気です。感染すると2～4日の潜伏期間の後、突然の嘔吐、下痢を繰り返し、発熱、腹痛を伴うことがあります。脱水症状がひどくなったり、合併症を起こした場合は、点滴や入院が必要なこともあります。

■対象者 令和2年8月1日以降に生まれたお子さん

令和2年10月1日以降に生まれたお子さんについては、出生届出時に接種券・予診票をお渡しいたします。

令和2年8～9月生まれのお子さんには、個別に接種券・予診票を郵送いたします。

■接種費用 無料

定期接種の対象者は、医療機関に予約して、10月1日以降に接種を受けてください。

※9月30日以前に接種された場合は、任意接種となり、費用が自己負担となります。

■接種回数と時期

ロタウイルスワクチンは2種類あり、どちらか1種類を使用します。種類により接種回数が異なるため、同じ医療機関で受けましょう。

●ロタテック（5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン） 3回経口接種

●ロタリックス（経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン） 2回経口接種

なお、いずれも、初回の接種は「生後6週0日から14週6日まで」の間に受けてください。

■「腸重積症」に注意

腸重積症は、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気です。腸の血流が悪くなることで、腸の組織に障害を起こすことがあるため、速やかな治療が必要です。2歳くらいまでの乳幼児がかかりやすい病気ですが、特にワクチン接種から1～2週間の間は腸重積症のリスクが高まるとされています。

○突然激しく泣く ○嘔吐する ○血便が出る ○ぐったりして顔色が悪い

○機嫌が良かったり悪かったりを繰り返す

これらの症状が1つでも見られた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。

■問合せ 福祉保健課 健康推進係 TEL：94-3133